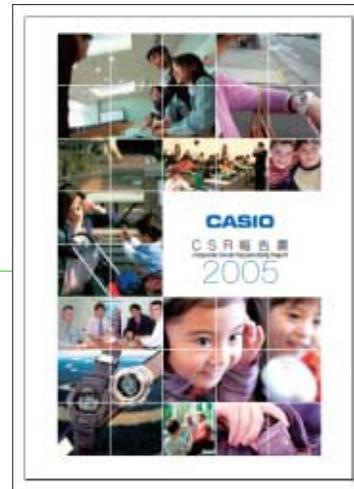


CSRへの取り組み

当グループは「カシオ創造憲章」を規範としてCSR活動に取り組み、コンプライアンス(法令遵守)や企業倫理の徹底、社会貢献などを積極的に推進しています。

CSR報告書2005を発行

当グループは今年8月、お客様、お取引先、投資家・株主、従業員、地域・市民・国際社会の各ステークホルダーに対する社会的責任を明確にすることを目的に「CSR報告書」を発行いたしました。昨年の「環境経営報告書」よりさらに報告範囲を拡大。「CSRマネジメント」「市場とカシオ」「地球環境とカシオ」「従業員とカシオ」「社会とカシオ」の5つの側面から報告をおこなっています。同報告書では、新たに次世代製品の研究開発と知財戦略、CSR調達を含む調達方針などを新たに掲載。環境面についても、拠点別データの開示範囲を、国内10拠点、海外12拠点を新たに加えた46拠点に拡大し、環境会計においても、新たな環境効率指標(環境負荷としてCO₂に加え、廃棄物、PRTR対象物質を追加)を追加。さらにWEEE&RoHS指令対応をトピックとして開示するなど、さらに充実した情報開示をおこなっています。



一万人の工場見学

当グループはCSR活動の一環として、甲府カシオ(株)を中心に小学校の校外授業として工場を見学していただく「一万人の工場見学」プロジェクトに取り組んでいます。「人としての絆」「科学の素晴らしさ」「夢の実現への挑戦」「かけがえのない地球環境」についての「気付き」を提供することをコンセプトとし、製造ラインの見学を始め、創業時のエピソードや現在の環境保全活動の説明、また実際に自分の手で電卓を組み立ててみる体験学習活動もおこなわれています。2004年度は山梨県内の5校を受け入れた他、各市町村の教育委員長も含めて約140名の見学者を迎えました。2005年度は地元のみならず全国からの申し込みを受け付けるなど、さらに活動を拡大しています。



TFT液晶製造工程で使用するクリーニングガスに「COF₂」を業界初採用

TFT液晶の生産拠点である高知カシオ(株)では、製造工程で使用するクリーニングガスを「NF₃(三フッ化窒素)」から、温暖化防止に効果を発揮する「COF₂(フッ化カルボニル)」への全面切り替えを2005年3月に完了。TFT液晶のみならず、半導体の量産工場で使用されるクリーニングガスにCOF₂を採用するのは、業界初のことになります。

COF₂が地球温暖化にもたらす影響は、NF₃に比べて1万分の1。使用量は4倍に増えますが、温暖化への影響は2500分の1となります。

また洗浄効果もNF₃に遜色ないほか、従来必要だった燃焼除害装置を必要としないため、TFT製造工程におけるエネルギー消費や二酸化炭素排出の削減にも効果が期待できます。



高知カシオ(株)

RoHS対応を年内に完了予定

欧州共同体(EU)は、電気電子機器に含まれる特定有害物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、臭素系難燃剤のPBB及びPBDE)の使用を2006年7月1日以降禁止するRoHS指令を制定。EU各国がこれに沿った法律を制定・施行することになっています。

当社は環境行動目標において、2005年12月までに欧州向け製品に対するこれら6物質の使用を全廃することを宣言していましたが、計画通り年内に全廃できる見通しとなりました。これにより1月以降出荷される製品は全てRoHS指令適合製品となります。

実現にあたってはお取引先の協力をいただき、購入部品に含まれる物質について、RoHS指令特定6物質を含む26物質群をデータベース化。部品の選定時、出荷時に問題がないことを確認しています。

物質データベース画面